

えんがわ

第34号

2010年1月発行

発行元
衣笠病院グループ
衣笠病院 須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

ある日の雑感

私は新潟県の某市に生まれました。最近でこそ鮭料理などで、ちよくちよくテレビに出てきたりしますが、私の子どもの頃は、いわゆる田舎の風景のイメージしかない土地でした。

当時、近所には子どもがいっぱいいました。毎朝夕陽が落ちるまで、小学校の高学年から低学年、保育園児なんかも一緒に、腹をかかえて笑いながら走り回っていたものです。遊びに関しては高学年のお兄さん、お姉さんがよくも悪くも絶対的存在で、彼らが親代わり、言うことを聞いて素直に遊ぶ…。いつしかそこから、自然に社会のルールを

学んでいたような気がします。

最近、大勢の子どもが外で遊んでいる姿を見かけますか？遊んでいたとしても、せいぜい同い年の子が2〜3人、それも各自ゲームを握りしめ、お互いの顔も見ずに画面相手にニヤニヤしている…。

今の子ども達より、我々の子ども時代の方が、物はなくても心は潤っていたよいうな気がしてなりません。「時代が違う」で片付けていいんでしょうかね…。

衣笠病院 総務部長代行
赤澤 均



ひえんとくがちや在宅モ電

気になる病気

インフルエンザ

インフルエンザも通常のかぜと違って、人はいまいませんか？

インフルエンザは通常のかぜより症状が重く、死に至ることもあります。また、短期間で大流行を引き起こすのも特徴です。

インフルエンザウイルスは大きく分けて、A型、B型、C型の3種類があります。このうち、ヒトの世界で流行を起こし問題となるのは、A型とB型です。簡易インフルエンザ検査では15分でA型とB型の判別ができますが、残念ながら毎年流行する季節性か新型の区別はできません。

最後に予防法といえ、日常生活では人混みを避

け、外出後はうがい・手洗い。室内の湿度を保ち、バランスのとれた食事、十分な睡眠を心がけて下さい。それでも38度以上の発熱、鼻水、頭痛、関節痛など全身症状があらわれたら、早めに最寄りの医療機関にかかりましょう。



衣笠病院
臨床検査技師
林 秀和

明けましておめでとございます。新しい年が始まりました。皆様はどんな形で新年をお迎えになられましたか？

昨今は明るいニュースもなく痛ましい事件や暗い話題ばかりの日本ですが、この新しい年が皆様にとって日本にとって明るい一年になることを心より願います。

今年もよろしくお願います。